

事業実績報告書

様式 2
(2019年度)

講座番号	C-07	講座名	田んぼ体験しよう！～昔ながらの農具を使って～
記載日	2019/11/15	団体名・企業名	戸田川緑地管理センター
<p>〈講座全体の概要〉(300字程度)</p> <hr/> <p>名古屋市にある「農業文化園・戸田川緑地」の体験水田で、田植え、草取り、稲刈り、脱穀までをなつかしい農具を使い、昔ながらのやり方で農作業を行いました。除草剤等を使用しないため、様々な生き物が生息できる環境です。</p>			
			
<p>田植え網を使って、等間隔に植えていきます。</p>		<p>千歯こきは江戸時代中期に作られた脱穀する農具です。</p>	
<p>〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)</p> <hr/> <p>稲作のことだけでなく、周辺の生き物や雑草についても学び、農作業を行ってもらえる講座にしました。お子さんの参加者もはじめは泥に足を入れて気持ち悪いと言っても、すぐに慣れて、田植えや草取りのスピードが上がっていくことが頼もしく、うれしく思いました。特に第6回では当園が収蔵する昔の農具をいくつも実際に使用していただき、脱穀など体験していただけたことで、昔の農家さんの大変さや苦勞をわかっていただけたのではないかと思います。熱中症もケガもなく無事に、自分たちが作ったお米を持ち帰っていただくことができました。</p> <p>今年は田植えにフリーアナウンサー深谷里奈さんが取材に訪れ、一緒に田植えしていただきました。東海ラジオの番組と環境情報誌Risaで情報提供いただけたことは、とても良かったと思います。</p>			
<p>〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・「初めての稲刈りで楽しかったです」 ・「なえを植えてから、本日まで、稲の成長をみれて、過程が見れてとても勉強になりました」 ・「昔の農作業を体験できるし、子どもは田んぼで泥んこあそびしてとても良いです」 ・「田植えから脱穀まで一連の工程の体験ができて、成長する様子が楽しく、また途中の草抜きなどの難しさも痛感出来て、とてもいい学びになりました。」 ・「生き物を見つけることができた」 ・「たいへんだった」「楽しかった」という両方の声をきくことができました。 			

●団体紹介

団体所在地	〒455-0873 名古屋市港区春田野二丁目3204 農業科学館2階		
連絡担当者	平田朱美	ウェブサイト	http://bunkaen-todagawa.jp/
TEL	052-302-5321	FAX	052-303-6116
E-mail	noutoda@todagawa.sakura.ne.jp	携帯電話	
〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度)			
<p>農業文化園・戸田川緑地は名古屋市の公園で、広くつろげる芝生広場や、市民のみなさんが植樹した「とだがわの森」があります。農業公園としての役割もあり、体験水田や農園があります。収穫体験や種まきなど、農に親しんでいただけるイベントや講習会などプログラムを多く行っています。</p> <p>【指定管理者：チームYMO（（公財）名古屋市みどりの協会、(株)山田組、(株)オオバ】</p>			

●講座開催情報

第一回	講座名	田植え		
	講師名	戸田川緑地管理センター職員	参加人数	48 名
	内容	愛知県育成品種「あいちのかおり」の苗を手植えしました。田植え綱を使って、一列にならび、等間隔に植えました。		
第二回	講座名	草取り		
	講師名	戸田川緑地管理センター職員	参加人数	31 名
	内容	ノビエ・コナギなどの水田雑草が伸びていますので、稲が元気に生育するよう、田すりや田打ち車を使って草取りしました。		
第三回	講座名	草取り		
	講師名	戸田川緑地管理センター職員	参加人数	33 名
	内容	ノビエ・コナギなどの水田雑草が伸び、稲が元気に生育するよう、手で、しっかり草取りしました。		
第四回	講座名	草取り		
	講師名	戸田川緑地管理センター職員	参加人数	19 名
	内容	ノビエが稲と同じ高さに伸び、よく似ていますが、見分けられるようになりました。		
第五回	講座名	稲刈りとはざかけ		
	講師名	戸田川緑地管理センター職員	参加人数	37 名
	内容	カマで1株ずつ稲刈りし、刈り取った稲を天日干しするために、はざにかけました。		
第六回	講座名	脱穀・精米		
	講師名	戸田川緑地管理センター職員	参加人数	35 名
	内容	はざかけしておいた稲束を脱穀・もみすり・精米しました。脱穀は千歯こきや足踏脱穀機、動力脱穀機を使い、選別はふるい、唐箕を使用しました。		